

## —「コロナ禍において、互いの医療経験を語ることで医療人のセルフコンパッションやモチベーションに影響を与えるか」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院

研究責任者 岡山大学学術研究院医歯薬学域 総合内科学 大塚文男

### 1) 研究の背景および目的

2020年度から新感染症であるCOVID-19が世界を蔓延しています。現時点ではワクチンでの予防は限定的であり、人と人との接触を少なくする物理的な予防と感染した人に対する対症療法に加えて、抗体療法などが可能となってきましたが、流行当初は、多くの介護施設、行政職員、病院職員などが手探りで感染者対応をして参りました。しかしながら、互いの経験について情報共有が十分でなく、それぞれの施設は独自に努力をするしかないのが、現状であると考えています。

そこで、本研究では、2022年3月5日にコロナ禍において、互いの医療経験を語るオンラインシンポジウム「コロナ禍における全人的医療～保健・介護・看護・医療 それぞれの経験の共有」を開催し、患者への対応や医療職の心の葛藤などを情報共有しながら共に振り返りを行うことで、医療関係者である参加者のセルフコンパッションやモチベーションに影響を与えたかを検討することを目的としています。

### 2) 研究対象者

2022年3月5日に開催した「コロナ禍における全人的医療～保健・介護・看護・医療 それぞれの経験の共有」での最後のアンケートに回答した方を研究対象とします。

### 3) 研究期間

倫理委員会承認後～2026年3月31日

### 4) 研究方法

「コロナ禍における全人的医療～保健・介護・看護・医療 それぞれの経験の共有」での最後のアンケート分析を行い、医療関係者の仕事へのモチベーションやセルフコンパッションの状況について調べます。

### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、アンケート結果を使用させていただきますが、氏名、生年月日など個人を特定する情報は収集しません。

- ・職種・シンポジウムの満足度、異なる施設での経験共有機会の有無、自分の気持ちを振り返る機会の有無
- ・医療関係者の仕事へのモチベーションの変化
- ・セルフコンパッションの因子の実行可能性

### 6) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、外部への情報提供はありません。

#### 7) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学 総合内科学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

#### 8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究はあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学学術研究院医歯薬学域 ぐらしき総合診療医学教育講座

氏名：三好智子

電話：086-235-7342（平日：8時30分～17時00分）